

報道機関配付資料 安城市

件名 安城市図書館が国立国会図書館から
10年連続で礼状をいただきました！

令和6年4月10日

安城市図書館は、国立国会図書館のレファレンス協同データベース事業（※注）に貢献したとして、旧中央図書館時代の平成26年以降10年連続で、国立国会図書館から礼状を受領しました。2023年の1年間で477ポイント分のデータを提供したとともに、調べ方マニュアルの累積データ登録ポイントが計370ポイントあったことによるものです。

令和5年12月末の当館の累積データ登録点数5,586点は全国第17位。規模の大きい県立図書館等が上位を占める中、政令市以外の市立図書館では、豊中市、伊丹市に次いで全国第3位です。愛知県内では当館以外に蒲郡市立図書館、名古屋市鶴舞中央図書館、愛知県女性総合センター情報ライブラリーの3館が受領します。

なお、アンフォーレは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に入館者数が大きく落ち込みましたが、令和3年度以降、回復傾向にありました。令和5年度の入館者数は、108万5,625人となり、ようやくコロナ禍前の水準に戻ることができました。

○当館の昨年の登録事例

「新美南吉が生きていた時代に在日していた韓国人の服装が知りたい。また、同時代の中国本土にいる中国人の服装も知りたい。」
「エレベーターの仕組みについて参考になる本はあるか。」など

※注）レファレンス協同データベース事業とは・・・

国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベース。公共・大学・学校・専門図書館等でのレファレンス事例、調べ方マニュアル、各館の特徴的な資料などのデータを蓄積してインターネットで提供し、図書館等のサービスや利用者の調査研究活動を支援するための事業です。

問い合わせ 安城市役所 アンフォーレ課

電話（直通） 0566-76-6111



安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中